

ねえねえ お・し・え・て!!

# お悩みそーだんしつ



**Q** ■今回は・・・夏休みの課題(自由研究や工作など)は、親も手伝うの？

昨年、学校で夏休みの作品展を見ましたが、力作や大作が多く、驚いてしまいました。我が家の子どもはまだ1年生だったので、本人が一人でできることを題材にしました。とはいっても今年は2年生、そろそろ私も協力しなくてはいけないのかなと思っています。その場合、どこまで手を貸してよいのか少し悩んでしまいます。皆さんは、子どもの夏休みの課題についてどのように考えていますか？  
(小2の母より)

## 主役は子ども、パパやママは応援団

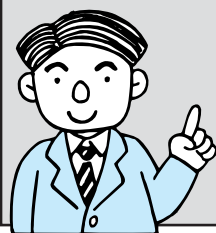
現場の小学校の先生方にアドバイスをいただきました。

**思** いっきり関わり、手伝うことも"よし"だと思います。「ある程度の結果を残すことによって子どもの満足感を十分に得させよう」とか「追求する楽しさを十分に味わわせたい」と考えるなら協力は必要です。留意する点としては、大人は選択肢や方法は提案しても、決めていくのは子ども自身だと心に留めて関わりましょう。

**大** 作や力作をつくるのが目的になると、子どもの作品ではなく親の作品になりがちに。子どもが楽しめているかどうかだと思います。私自身は、電車が大好きな我が子と電車の旅をし、駅前調べをしたのですが、とても思い出になっています。

**ど** こかへ調べに行く時は親が連れて行くとか、まとめ方や調べ方などで悩んでいる時にはアドバイスをしたりして、子どもが自分でやり遂げるための壁をとりのぞく手助けは必要じゃないでしょうか。ただし、まとめの部分は子どもの考えでないと誰の研究なのかわからなくなりますよ。

**子** どもたちにとって、夏休みはいつもよりゆったりと自然に関われる時ではないでしょうか。自然は、「ちょっと郊外に行かない」と思ってしまいがちですが、植木鉢をそっとどけると、そこにはダンゴ虫がいたりして・・・身のまわりには、たくさん自然があります。その中から、子どもたちの興味や関心に基づいて自由研究のテーマを見つけることをおすすめします。子どもたちが、自由研究のテーマで困った時は、担任の先生に相談したり、本町プラザの環境学習センターや三重県環境学習情報センターなどで開催されている「夏休み自由研究の相談」講座に参加されてみてはいかがでしょうか。とにかく、科学のおもしろさ・楽しさを体験・実感できるといいですね。



私は、日頃の子どものスキンシップ不足を補うように、ノコギリやキリなどの使い方を教えながら工作に汗を流していたことがあります。学年が上がるにつれ、私の出番も少なくなってきました。親子で楽しく、同じ時間と同じ話題を共有できる機会だと気楽に思われてはどうでしょうか。  
(2児の父)

私には手伝ってあげる時間的余裕もないので、子どもたちは毎年自分たちでできること(絵や工作、習字など)をしています。休み明けに学校でたくさんの作品を見ますが、お世辞にも上手とは言えない我が子たちの作品が、私には一番心にとまります。  
(3児の母)

とにかく何事も早めに取りかかろう。「何をしようかなあ、どうしようかなあ」と親子で悩んでいる間に夏休みも後半に。図書館の本や資料も貸し出されてなかったり、種から育てた花の観察も、花が咲く前に夏休みが終わってしまったこともありました。  
(2児の母)

せっかくの長い休みです。気負わず、子どものやってみいたいことやチャレンジしたいことに力を貸したり、心をよせてみてはどうでしょうか。ちなみに編集員の子どもが小5の時、夏休みに本を30冊読むことにチャレンジしたそうです。



編集部より 子育てのお悩みをお寄せください。お待ちしております。